2024 年 1 月 4 日

各位

エンデバー・ユナイテッド株式会社

弊社メンバーによる座談会記事の掲載に関するお知らせ

弊社の執行役員前野が、日本バイアウト研究所より発刊された書籍（『新・事業承継とバイアウト―事例選―』）において、事業承継案件におけるバイアウト・ファンド活用についての座談会に参加し、そこでの討論内容が掲載されましたので、お知らせいたします。

＜掲載書籍＞
『新・事業承継とバイアウト―事例選―』

以上

刊行のお知らせ

<日本企業のバイアウト>シリーズ
待望の続編！
『新・事業承継とバイアウト―事例選―』

本書の特徴

中堅・中小企業の事業承継手法としてのバイアウトの実態を豊富な事例と経営者インタビューにより明らかにした、日本の企業経営者必読の書。事業承継型 M&A を検討している中堅・中小企業のオーナー経営者やバイアウト・ファンドの活用により成長を目指すオーナー企業の経営者にお薦め。また、金融機関、M&A アドバイザー、コンサルタント、弁護士、公認会計士、税理士などのプロフェッショナルも必携。2011 年に刊行した『事業承継とバイアウト』、2016 年に刊行した『続・事業承継とバイアウト―製造業編―』、『続・事業承継とバイアウト―小売・サービス業編―』、2022 年に刊行した『続・事業承継とバイアウト―ロールアップ編―』の待望の続編。

主な読者層

事業承継型 M&A を検討している中堅・中小企業のオーナー経営者やバイアウト・ファンドの活用により成長を目指すオーナー企業の経営者に必読の書。また、M&A 支援機関（M&A 仲介会社、M&A アドバイザリー会社）や、金融機関（大手銀行、信託銀行、地方銀行、信用金庫、証券会社）の M&A・事業承継担当者、法人営業担当者、プライベート・バンキング担当者、LBO ファイナンス担当者、事業再生担当者、コンサルタント、弁護士、公認会計士、税理士などのプロフェッショナルの方々にも待望の実務書。

＜新刊＞

新・事業承継とバイアウト―事例選―

日本バイアウト研究所／編

刊行日：2023 年 12 月下旬予定
仕様：A5 判・約 400 頁・上製
定価：3,960 円（税込）
発行所：中央経済社

中堅・中小企業の事業承継手法としてのバイアウトの実態を豊富な事例と経営者インタビューにより明らかにする。オーナー経営者の引退に伴う事業承継のケース、バイアウト・ファンドを資本パートナーに迎えて株式上場を実現したケースなどの事例を多数記載。

＜既刊＞

事業承継とバイアウト
日本バイアウト研究所／編
刊行日：2011 年 3 月 22 日
仕様：A5 判・436 頁・上製
定価：4,180 円（税込）
発行所：中央経済社

続・事業承継とバイアウト―製造業編―
日本バイアウト研究所／編
刊行日：2016 年 3 月 8 日
仕様：A5 判・288 頁・上製
定価：3,740 円（税込）
発行所：中央経済社

続・事業承継とバイアウト―小売・サービス業編―
日本バイアウト研究所／編
刊行日：2016 年 3 月 8 日
仕様：A5 判・312 頁・上製
定価：3,740 円（税込）
発行所：中央経済社

続・事業承継とバイアウト―ロールアップ編―
日本バイアウト研究所／編
刊行日：2022 年 12 月 28 日
仕様：A5 判・346 頁・上製
定価：3,960 円（税込）
発行所：中央経済社

本書は一般の書店にてお求め頂けます。

新・事業承継とバイアウト―事例選―

日本バイアウト研究所／編

刊行日：2023 年 12 月下旬予定
仕様：A5 判・約 400 頁・上製
定価：3,960 円（税込）
発行所：中央経済社

中堅・中小企業の事業承継手法としてのバイアウトの実態を豊富な事例と経営者インタビューにより明らかにする。オーナー経営者の引退に伴う事業承継のケース、バイアウト・ファンドを資本パートナーに迎えて株式上場を実現したケースなどの事例を多数記載。

第Ⅰ部　手法と市場動向

第 1 章　バイアウト・ファンド活用型事業承継の特徴と留意点 ―オーナー経営者の視点と判断軸に焦点をあてた考察―
（執筆者：株式会社 KPMG FAS 執行役員パートナー 山口健一郎）
（執筆者：株式会社 KPMG FAS ディレクター 浅尾兼平）
（執筆者：KPMG 税理士法人 パートナー 澤田正行）

第 2 章　事業承継におけるバイアウト・ファンドおよび外部経営人材の活用 ―CFO 採用の事例からみる企業変革―
（執筆者：キャリアインキュベーション株式会社 マネージングディレクター 中村直樹）
（執筆者：キャリアインキュベーション株式会社 マネージングディレクター 岡本起里）
（執筆者：キャリアインキュベーション株式会社 ディレクター 安井翼）

第 3 章　オーナー企業の事業承継案件の法務 ―分散した株式の既存株主からの集約を中心に―
（執筆者：長島・大野・常松法律事務所 弁護士 宮﨑隆）
（執筆者：長島・大野・常松法律事務所 弁護士 田原一樹）
（執筆者：長島・大野・常松法律事務所 弁護士 小林輝一）

第 4 章　多様化する事業承継型バイアウト案件の類型化と近年の動向
―潜在的な需要への対応に向けた課題の考察―
（執筆者：株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一）

第Ⅱ部　事例と経営者インタビュー

第 5 章　サロン経営を多面的に支援するトータルビューティカンパニー構想
―デザインワードと JULIA IVY を核とした価値創造型ロールアップ事例―
（執筆者：アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 マネージングパートナー 上田研一）
（執筆者：アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 ディレクター 井土尊之）
（執筆者：アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 プリンシパル 山田修造）

≪経営者インタビュー≫
オーナー企業とバイアウト・ファンドとの資本業務提携 ～永続的な事業運営と新しい成長カーブを目指して～
（インタビュー先：株式会社デザインワード 代表取締役 木村賢二氏）
（インタビュー先：株式会社 JULIA IVY 代表取締役社長 福井仁美氏）

第 6 章　オーナー企業の事業承継と組織型経営への移行におけるバイアウト・ファンドの役割
―グリーンオンの事例―
（執筆者：WM パートナーズ株式会社 ディレクター 井芹健太郎）
（執筆者：WM パートナーズ株式会社 シニアアソシエイト 宮田稜大）
（執筆者：WM パートナーズ株式会社 オペレーティング・マネージャー 細田脩子）

≪経営者インタビュー≫
創業者の想いを大切にした事業承継の実現 ～文鎮型組織からピラミッド型組織への体制変革～
（インタビュー先：グリーンオン株式会社 代表取締役社長 竹富研一氏）

第 7 章　創業社長とバイアウト・ファンドが利害をともにする運命共同体型投資 —SBIC とのパートナーシップの事例—
（執筆者: CLSA キャピタルパートナーズジャパン株式会社 ヴァイス プレジデント 福岡涼）
≪経営者インタビュー≫
成長企業とバイアウト・ファンドとの協働の意義 ～会社を次のステージに進めるためのパートナーの選び方～
（インタビュー先: 株式会社 SBIC 代表取締役社長 鬼頭宏昌氏）

第 8 章　日本発の世界市場創造に向けたウォッチニアングループの挑戦 —新たな事業成長の形—
（執筆者: 株式会社アドバンテッジパートナーズ プリンシパル 西村隆志）
（執筆者: 株式会社アドバンテッジパートナーズ シニアアソシエイト 藤野健太郎）
≪経営者インタビュー≫
バイアウト・ファンドと組んだ事業基盤の強化と成長の加速 ～永続的な企業発展の実現に向けて～
（インタビュー先: ウォッチニアングループ株式会社 代表取締役 高妻寛樹氏）

第 9 章　創業者への依存度を抑えた組織的経営体制への移行 —持続的な成長を目指すヴイ・エス・テクノロジーの事例—
（執筆者: アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 マネージングパートナー 今泉智幸）
（執筆者: アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 ディレクター 山田真也）
≪経営者インタビュー≫
ワンマン体制から組織型経営への移行に向けた取り組み ～次世代経営人材の育成と情報の可視化の推進～
（インタビュー先: 株式会社ヴイ・エス・テクノロジー 取締役会長 足立高宏氏）

第 10 章　日本・中国クロスボーダーでの事業承継・成長支援 —水谷産業グループの取り組み—
（執筆者: 株式会社マーキュリアインベストメント 執行役員 中国事業統括 許暁林）
（執筆者: 株式会社マーキュリアインベストメント バイスプレジデント 遠藤広冶）
（執筆者: 株式会社マーキュリアインベストメント バイスプレジデント 佐野淳一）
≪経営者インタビュー≫
円滑な事業承継の成功に向けたキーポイント ～株主変更に至る経緯の説明とコミュニケーションの機会の創出～
（インタビュー先: 水谷産業株式会社 取締役会長 齊藤孝氏）
（インタビュー先: 水谷産業株式会社 代表取締役社長 山田真吾氏）

第 11 章　企業の持続的成長を目指す創業家によるバイアウト・ファンドの活用事例
—JRC の株式上場の実現までの取り組み—
（執筆者: インテグラル株式会社 ヴァイスプレジデント 常川陽介）
≪経営者インタビュー≫
株式上場に向けた資本パートナーの選定 ～事業への深い理解と信頼関係に基づく協力体制の構築～
（インタビュー先: 株式会社 JRC 代表取締役社長 浜口稔氏）

第 12 章　“ワンマン”企業を“パブリック”企業へ進化させる取り組み —やる気スイッチグループの事例—
（執筆者: 株式会社アドバンテッジパートナーズ パートナー 東原俊哉）
（執筆者: 株式会社アドバンテッジパートナーズ プリンシパル 安永記士）
≪経営者インタビュー≫
創業者の想いを引き継ぐ第二創業のスタート ～企業理念の伝承と進化を通じた組織活性化～
（インタビュー先: 株式会社やる気スイッチグループホールディングス 代表取締役社長 高橋直司氏）

第 13 章　連続起業家とバイアウト・ファンドとの二人三脚によるコロナ禍での株式上場の実現 —デコルテへの投資事例—
（執筆者: キャス・キャピタル株式会社 代表取締役パートナーCo-COO 山下健次郎）
（執筆者: キャス・キャピタル株式会社 代表取締役パートナーCo-COO 上原進）
（執筆者: キャス・キャピタル株式会社 シニアアソシエイト 松石拓馬）
≪経営者インタビュー≫
急激に拡大する業績に合わせた経営管理体制の強化 ～外部経営人材を活用した組織づくりに向けた取り組み～
（インタビュー先: 株式会社デコルテ・ホールディングス 取締役会長 小林健一郎氏）
（インタビュー先: 株式会社デコルテ・ホールディングス 代表取締役社長 新井賢二氏）

座談会　オーナー企業の事業承継におけるバイアウト・ファンド活用の優位性
—適切な経営人材の補強による体制整備と PMI スキルを活かした組織づくり—
（討論者: 日本プライベートエクイティ株式会社 代表取締役社長 法田真一氏）
（討論者: エンデバー・ユナイテッド株式会社 執行役員 前野龍三氏）
（討論者: 株式会社マーキュリアインベストメント 取締役 CIO 事業投資部長 小山潔人氏）
（司会者: キャリアインキュベーション株式会社 マネージングディレクター 佐竹勇紀氏）

既刊　＜日本企業のバイアウト＞シリーズのご紹介

経営課題を抱えた企業や成長意欲のある日本企業に対して、バイアウト・ファンドが各種のソリューションを提供している実態を、実際の事例を通じて明らかにしたビジネス専門書。バイアウトの事例と経営者インタビューを豊富に収録。

事業再編とバイアウト
日本バイアウト研究所／編
刊行日：2011 年 3 月 22 日
仕様：A5 判・468 頁・上製
定価：4,180 円（税込）
発行所：中央経済社

事業再生とバイアウト
日本バイアウト研究所／編
刊行日：2011 年 3 月 22 日
仕様：A5 判・448 頁・上製
定価：4,180 円（税込）
発行所：中央経済社

事業承継とバイアウト
日本バイアウト研究所／編
刊行日：2011 年 3 月 22 日
仕様：A5 判・436 頁・上製
定価：4,180 円（税込）
発行所：中央経済社

プロフェッショナル経営者とバイアウト
日本バイアウト研究所／編
刊行日：2012 年 8 月 24 日
仕様：A5 判・328 頁・上製
定価：3,960 円（税込）
発行所：中央経済社

続・事業承継とバイアウト
―製造業編―
日本バイアウト研究所／編
刊行日：2016 年 3 月 8 日
仕様：A5 判・288 頁・上製
定価：3,740 円（税込）
発行所：中央経済社

続・事業承継とバイアウト
―小売・サービス業編―
日本バイアウト研究所／編
刊行日：2016 年 3 月 8 日
仕様：A5 判・312 頁・上製
定価：3,740 円（税込）
発行所：中央経済社

続・事業再生とバイアウト
日本バイアウト研究所／編
刊行日：2018 年 11 月 15 日
仕様：A5 判・276 頁・上製
定価：3,740 円（税込）
発行所：中央経済社

続・事業再編とバイアウト
日本バイアウト研究所／編
刊行日：2019 年 11 月 15 日
仕様：A5 判・256 頁・上製
定価：3,630 円（税込）
発行所：中央経済社

続・プロフェッショナル経営者とバイアウト
日本バイアウト研究所／編
刊行日：2020 年 12 月 21 日
仕様：A5 判・456 頁・上製
定価：3,960 円（税込）
発行所：中央経済社

続・事業承継とバイアウト
―ロールアップ編―
日本バイアウト研究所／編
刊行日：2022 年 12 月 28 日
仕様：A5 判・346 頁・上製
定価：3,960 円（税込）
発行所：中央経済社

本書は一般の書店にてお求め頂けます。